



5月2日、会田病院の職員の皆様、「患者さんに喜ばれる病院づくり」というタイトルで講演させて頂きました。講演に伴い院内を見学させて頂きました。スタッフの皆さんの挨拶と笑顔が気持ちよく感じました。廊下に花柄の壁紙を貼ったフロアもあり、それだけでも気持ちがあ和みました。小さな工夫が大きな違いを生んでいました。

私はナイチンゲールに憧れて看護師になりました。東京の慶応大学病院に勤務しましたが、病棟の殺風景な環境に疑問を持ち患者さんの心が元気になる環境を造りたいと建築家に転身しました。現在東京で二級建築士事務所を立ち上げ、日本国内及びベトナムで仕事をしています。さて元気になる病院

## 患者さんに喜ばれる病院づくり



とは何でしょうか？例えば入院すると病室のベッドで二日中見るものは天井です。エアコンの噴出口、蛍光灯、無機質な天井：そこから生まれるのは病気の不安と寂しさです。しかし天井が温かい色彩や照明だったらそこから元気をもらう事ができるはずです。そして大切なのは人です。気持ちを察したお声がけに患者さんは救われます。患者さんに喜ばれる病院とは建物のきれいさだけでなくおもてなしの心がある病院です。

会田病院様は三月に病院機能評価認定を取られ大変素晴らしいと思います。私の89歳の父は通所にお世話になり、職員の皆様の励ましを受けながら大変元気になりました。このように一人一人が元気になることは矢吹町が元気になる事です。今後も期待申し上げます。

